

い：「夜」と、井戸の底から  
女が眼を数える、身の毛が  
よだつような恨めしい声が  
響き渡る：かの有名な「番  
町眼屋敷」を筆頭に、「四谷  
怪談」「牡丹燈籠」を日本三  
大怪談という。怪談と言え  
ば夏、夏と言えば怪談だ。

んな歌舞伎も夏になれば暑さで観客が集まらず、芝居小屋は閑古鳥が鳴き、主役級の役者も休暇を取つてしまふ始末。そこで目先の変わつた演目を、と考えられたのが怪談ものだという。衣装の早変わりや宙づり、水袋置などの大がかりな仕掛けで、若手俳優が演じても観客は大いに盛り上がり、一躍舞台は夏の風物詩となる。

杜のコラム

送にあたって色々と問題が多いのだろう。怪異には、なんとも棲みづらい世の中になってしまった。

恐怖や畏れが人を惹きつけることは紛れもない事実であろう。止めておけばいいのに近づかなければいいのに見すにはいられない、聞かずにはいられない。そしてやつぱり怖くなるのだ。天井の木目が人の顔に見え、家鳴りに震え、水音に身を強張らせ、ついには夜寝られなくなつてひとり後悔する…そんな幼き日の、夏の記憶を懐かしく、微笑ましく思う。

お地蔵さまに会いに…  
興正寺夏の宝物展 普門園にて開催



去る七月四日から七日まで、地蔵菩薩をテーマにした夏の宝物展が行われました。興正寺では代々伝わる様々な宝物や文化財を身近に見ていたいただき、またその価値を後世へ伝えて行こうと、毎年定期的に宝物展が行われています。

加えて気候のせいもあるのかもしない。日本独特の、じとりとした重みある空氣は目に見えぬモノとの相性がよいのだろう。さわさわと、ぞわぞわと、暗闇に存在を想像させる。無数の蠢きを感じさせる。お盆という行事もあながち無関係ではあるまい。あちらとこちらの境界線がいつもより少しだけ薄くなる。場と心が「あやし」を

興奮談譯となつた  
加えて氣候のせ

2908号

特集

盆・施紙鬼	.....2・3ページ
縁日さんぽ	.....5ページ
運営だより	.....11ページ

8/24(木)

## 地藏菩薩大祭緣日 「地藏盆」

13時より 大書院にて

地蔵盆とは、道端や街角の身近なお地蔵さまが対象とされる地蔵菩薩信仰の行事です。旧暦7月24日に行うことから、お盆に近い時期である8月24日に行われるようになり、地蔵盆と呼ばれるようになりました。



- ✿ のぼり旗奉賛 <3,000円>  
一年間、能満堂まえの階段に奉納します。皆さまの願いが風にたなびき、お地蔵さまに届きつづけます。
  - ✿ 菓子まき菓子奉納 <一口／500円から>  
当日、お地蔵さまにお菓子をお供えします。法会後は菓子まき菓子として、ご参加の皆さんにおさかりとしてわたります。
  - ✿ 前かけ(よだれかけ)奉納 <1枚から何枚でも>  
法会終了後、お地蔵さまに掛けれる前かけを募集中です。

布薩とは問答を繰り返しながら自己反省をし罪を懺悔告白する儀式です。その歴史は長く、日本で本格的に執り行われるようになつたのは奈良時代の中期と言われています。いにしえから連続と続く法会の、深く厳肅な空気の中でご自身を見つめ直す機会としてください。9時45分より、布薩会に臨むにあたつての心構えが説かれます。

9時より 西山観音堂にて  
この日にお参りをすれば、九万九千日分の功  
徳がいただける「九万九千日法会」が、西山観  
音堂で厳修されます。正觀世音菩薩との勝縁  
をぜひ、お結びください。

8/6  
(II)

10時より西日本堂にて



8/15 (火)	8/14 (月)・ 15(火)
精霊流し 盆踊り	戦没者追悼慰靈法会

守つてくださつて  
いるお大師さまの  
ご生誕をお祝いし、  
そのご功績を讃え  
る法会です。ぜひご  
参拝ください。

8/5  
(土)  
青葉まつり

14時より 西山本堂にて



供養・祈禱・その他お問合せは 052-832-2801(年中無休／9:00～18:00)まで。興正寺公式ホームページも随時更新中です。

命の営みに感謝する 私たち家族の勤めとして

# 平成29年 八事山興正寺 盆合同供養会

佛教本来の由緒正しきご供養をご先祖様へ

予約  
優先

※供養代参「遙拝供養」をご希望の方は、お申込み時にお申し出ください。「遙拝供養」については下部を参照。

興正寺での納骨の有無に関わらず、  
どなたでもご参加いただけます。

期間／8月10日(木)～15日(火)

受付／西山本堂(10分前までに受付をお済ませください。)

供養料／一靈 5,000円(「盆供養之證牒」授与)

	10日(木)	11日(金・祝)	12日(土)	13日(日)	14日(月)	15日(火)
8:00	○	○	○	○	○	○
10:00	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	○	○	○	○
13:00	○	○	○	○	○	○
15:00	○	○	○	○	○	○
16:00	○	○	○	○	○	○
19:00	△	○	○	△	○	△

…混雑が予想されます  …お受けできません

※所要時間 30～40分程度

圓照堂にご納骨の方

期間／8月10日(木)～16日(水)

受付／圓照堂(10分前までに受付をお済ませください。)

供養料／一靈 5,000円(「盆供養之證牒」授与)

	10日(木)	11日(金・祝)	12日(土)	13日(日)	14日(月)	15日(火)	16日(水)
8:00	○	○	○	○	○	○	○
10:00	○	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	○	○	○	○	○
13:00	○	○	○	○	○	○	○
15:00	○	○	○	○	○	○	○
16:00	○	○	○	○	○	○	○
19:00	△	○	○	△	○	△	△

…混雑が予想されます

※19時の回は、西山本堂での受付となります。

※遺骨・位牌は予約制でお出しいたします。

※所要時間 30～40分程度

申込方法 振込、または来寺にて

※ご都合が合わず、参列できない方は「遙拝供養」にてお申し込みください。

## 初盆合同供養会

本年 初盆をお迎えの方

予約  
優先

興正寺での納骨の有無に関わらず、どなたでもご参加いただけます。

日 時／8月12日(土) 14:00～15:30～17:00～

供養料／一靈 5,000円

※お時間の15分前までに受付をお済ませください。

※當山へご納骨済の方へは、時間を指定した申込書をお送りしております。

## 興正寺施主慰靈法会

興正寺が施主となり、當山に有縁の方のご供養を修します。

日 時／8月11日(金・祝) 14:30～

※当法会の見学は自由ですが、ご自身が施主となってのご供養をおすすめします。盆合同供養会へお申し込みください。

## 遙拝供養とは？

「遙か遠く離れた場所からでもご先祖を拝む」の言葉通り、興正寺にて厳修される各合同供養会や慰靈法会に、  
ご都合が合わず参列できない皆さまのためにご用意させていただいた、興正寺ならではのご供養スタイルです。

お申込みさえお済ませいただければ、あとは興正寺僧侶が皆さまに代わって、真心を込めて読経を厳修し、仏さまや  
ご先祖さまのもとへ、皆さまの善行をお届けいたします。「遙拝」をされる皆さまはどうぞご自宅やお仕事先などから、  
ご先祖さまに心を込めて手をお合わせください。その気持ちがご供養の大切な心です。

興正寺での納骨の有無に関わらず、どなたでもご参加いただけます。





# せがき お施餓鬼の いわれ

お盆の「供養」と、いわゆる「お施餓鬼」とは全くの別のものであることをご存知でしたか?

お盆(仏教における正式呼称は「盂蘭盆会」)の期間中は、盆供養とお施餓鬼の法会を同じ時期に行う寺院も多く、一般の方には混同されてしまいがちです。

しかし、本来のお施餓鬼とは、1年365日を選ぶことなく、あの世にいらっしゃるご先祖様の為に塔婆を捧げ、その功德をお繋ぎする尊い営みなのです。

## せがき お施餓鬼とは

興正寺では1年を通じて、毎日お勤めしている法儀の一形態です。お釈迦さまと阿難の故事に由来し、あの世の「六道」のひとつ、「餓鬼道」にいる餓鬼(生前の悪行によって餓鬼道に落ち、常に飢えと渴きに苦しんでいる魂)や水や食べ物のお供え(施し)をして、その苦しみを和らげ供養するのが、お施餓鬼です。その功德はご先祖さまへも及び餓鬼道へ落とすことなくそのままご供養へと繋がると同時に、施餓鬼塔婆には、福德延寿や子孫長久の功德があるとされています。

## 申込方法

振込、または来寺(納経所)にて ※ご都合が合わず、参列できない方は「遙拝供養」にてお申し込みください。

## とうば 塔婆とは?

「卒塔婆」の略語で、サンスクリット語のストゥーパがルーツ。昔、釈迦が入滅したあと、その舍利(遺骨)を納めた塔(ストゥーパ)を建てて供養したのが始まり。卒塔婆は、故人や先祖を供養する追善供養(生きている人が亡くなつた人に対して行う供養のこと)の目的で建てられます。追善の文字があらわすように、生きている人が亡くなつた人の代わりに、この世で行う行為で、その功德はまた自分に戻ってくるという考え方です。

塔婆  
大きさ  
一覧



興正寺の塔婆は、1本1本手書きでおつくりしております。

### 精靈流し(盆飾り供養)

盆飾りやお供えをお持ちください。  
送り火として蓮そろそくを授与いたしますので、御霊をお送りください。

日 時／8月15日(火) 17:00~20:00  
受 付／西山本堂前テント  
供養料／1,000円(送り火用蓮そろそく代)

※ご希望の方には500円で蓮そろそくのみ授与いたします。  
盆飾りをお持ちでない方も、どうぞ一緒に御霊をお送りください。

### 盆踊り

盆踊りとはもともとは仏教行事で、平安時代に始められた念佛踊り(踊念佛)が盂蘭盆の行事と結びつき、精霊を迎える光者を供養するための行事として定着していったのが始まりと言われています。

日 時／8月14日(月) 17:00~20:30  
15日(火) 17:00~20:30  
受 付／五重塔前やぐら

八月と言えばお盆です。ご先祖さまが帰つて来ます。手を合わせて、家族みんなでお迎えしましょうね。

さて前回はお大師さまがまだ真魚さまと呼ばれていた時代。御誕生から都での大学生活までのお話をしました。

大学入学を経て周りの貴族らに落胆をし、仏教に道を求める始めた真魚さま。この頃、一人の僧侶が真魚さまに運命を見える秘法を授けたのです。

### ◆◆◆虚空藏求聞持法◆◆◆

その修行僧は、奈良大安寺の高僧・勤操大徳といわれています。この勤操大徳が真魚さまに授けた秘法、それは虚空藏菩薩さまのご真言を一定の時間内に百万回となえるというもの。大変過酷なのですが、これを成し遂げればあらゆる經典を暗記することができ、しかも見聞きしたことを決して忘れず、知覚した全てのものを休得することができるというのです。その修行を、「虚空藏求聞持法」といいます。大学に失望していた真魚さまが、仏教を探求するきっかけとなつたのがこの「虚空藏求聞持法」との出会いであったといわれています。真魚さまは大学を去り、正式な僧侶ではなく自称の僧侶である私度僧となり、山岳修行に身を投じることとなります。

そして上州室戸崎(高知県室戸市)の御厨人窟で求聞持法を修しているとき、口に明星(金星)が飛び込んできたそうです。そのときは「御遺告」(お大師さまが入定にあたり後世に残した書)に、「心に觀するに、明星口に入り、虚空藏光明照らし来て、菩薩の威を顯す」と記されております。

そこで奈良の東大寺大仏殿にて「この空海に、最高の教えをお示しください」と祈願されました。祈願をし始めて二十一日目に「大和高市郡の久米寺に、汝の求めている教法がある」という夢のお告げがあり、大日經という經典を発見しました。ところが、その大日經にはどうしても理解できない部分があつたのです。教えられる人は、日本には一人もいませんでした。唐(中国)に名僧がいる

とお聞きになつたお大師さまは、大日經の教えを

南無大師遍照金剛



△東大寺

このあとに続く多くの人たちとの出会いによって、お大師さまの密教への道はさらに開かれていくことになります。

八月と言えばお盆です。ご先祖さまが帰つて来ます。手を合わせて、家族みんなでお迎えしましょうね。

さて前回はお大師さまがまだ真魚さまと呼ばれていた時代。御誕生から都での大学生活までのお話をしました。

大学入学を経て周りの貴族らに落胆をし、仏教に道を求める始めた真魚さま。この頃、一人の僧侶が真魚さまに運命を見える秘法を授けたのです。

### ◆◆◆入店求法◆◆◆

虚空藏求聞持法を休得なされた真魚さまは一度、讃岐国に帰ります。そうして、ついに家族の反対を押し切つて出家することを告げ、二十歳の時、和泉国(大阪府)にある槇尾山寺において勤操大徳を師として剃髪・得度し、名を教海とされたといわれています。のちに名を如空と改め、身も心もみ仏のお弟子となられました。さらに二十二歳

の時、名を空海と改め、当時の名僧高僧にみ仏の教えを求めましたが、どうしても満足することができませんでした。

### ◆◆◆遣唐使◆◆◆

お大師さまは留学僧として遣唐使の一一行と共に、唐へ出帆されました。天台宗を開かれた最澄さまも、このとき唐に渡られています。

今日と違つて船も小さく、海を渡る事は命がけでした。いくたびか暴風雨にあつた末の延暦二十三(八〇四)年八月十日、九死に一生を得て、福州赤岸鎮に漂着したのです。しかし、ぼろぼろの船でたどり着いた一行を、唐の役人は怪しみ、上陸させてくれません。そこでお大師さまは州の長官に手紙を書きました。役人はその文章と書の立派なことに

### ◆◆◆遣唐使◆◆◆

お大師さまは留学僧として遣唐使の一一行と共に、唐へ出帆されました。天台宗を開かれた最澄さまも、このとき唐に渡られています。

今日と違つて船も小さく、海を渡る事は命がけ



△勤操大徳



△御厨人窟(高知県室戸市)

## 縁日さんぽ。

# 「観音堂」

観音さまは、とても清らかで優しい仏さま。私たちの救いを求める声を聞き、救済してくださるたいへん慈悲深い方です。お地蔵さんと並んで、古くから身近に親しまれ広く信仰されています。

あらゆる人たちを救うため、様々にお姿を変えて私たちの傍にいてくださるため、十一面觀音、千手觀音など様々なお姿・お名前をお持ちですが、興正寺 観音堂の御本尊は尾張徳川家二代目藩主 光友公の念持仏として伝わる「正觀世音菩薩」さまといいます。

今月の縁日さんは、毎月18日・観音堂 観世音菩薩縁日のご紹介。

### 観音堂のおもな年間行事

#### ・九万九千日(8月10日)

この日にお参りすれば、九万九千日分の功德が得られるとしている、たいへんありがたい日です。

#### ・観音堂秘仏開扉(10月5日・13日)

西山觀音堂の御本尊・正觀世音菩薩は秘仏であり、年に一度、この二日間のみ御開帳となります。ぜひ正觀世音菩薩との勝縁をお結びください。

### 毎月18日の縁日は どなたでもご参加できます。

観音堂のおつとめは、参拝者の皆さまのお経と共にはじめ、お経と共に終わります。参拝者次第をお貸ししていますので初めてでも大丈夫ですよ。



## お参りしよまい!興正寺の諸堂縁日

興正寺の縁日は5日と13日だけじゃありません!山内のあちらこちらにある御堂で、様々な仏さまをお祀りして縁日のおつとめを行っています。誰でも参加できるこれらの縁日、御堂や担当のお坊さんによって雰囲気が全然違うんですよ!



## 諸堂奉納幟旗のご案内

夏の各法会に合わせ、觀世音菩薩・地蔵菩薩の幟旗奉納を承っております。奉納期間はそれぞれ一年間です。お申し込みは納経所まで。

### ● 観音堂 九万九千日

8月10日(木)  
9時より 観音堂にて

この日にお参りすれば、九万九千日分の功德がいただける「九万九千日法会」が、興正寺西山觀音堂で厳修されます。正觀世音菩薩との勝縁をぜひ、お結びください。



### ● 地蔵菩薩大祭縁日 「地蔵盆」

8月24日(木)  
13時より 大書院にて

地蔵盆は8月24日前後に行われるお地蔵さまのお祭りで、子どもたちの成長や幸福を願い皆で集まります。興正寺では子ども達と一緒に大数珠回しを行います。

## 月夜阿息観

去る6月17日(土)19時より、觀音堂にて月夜阿息観が行われました。

いつもの觀音堂とは異なる夜の静寂な雰囲気のもと、ローソクの燈火を月明かりに見立てて瞑想を行いました。ゆらゆらと揺れる燈火を見つめながら、呼吸と心をととのえ心しづかなひと時を過ごしました。当日は、たくさんの方にご参加いただきましたこと、心より感謝申し上げます。合掌





△中央が坂本さん。隣はお弟子さんの松井さん(左)と大杉さん(右)。

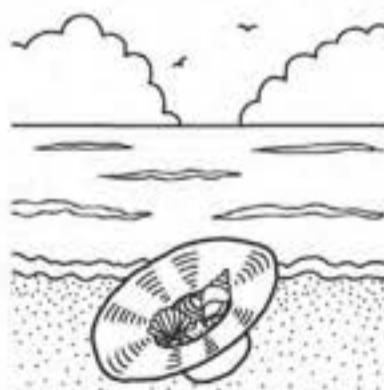


△昨年の興正寺の盆踊りの様子。外国人の方も輪に加わりみんなで踊った。



●坂本 明子さん

興正寺が盆踊りの先生を探していた時、坂本さんのお弟子さんが偶然にも興正寺に在籍していたことが縁となり、指導することになった。



高田敏子(1914~1989)は東京都出身の詩人。女性の日常、目線に根差した平易な表現で「主婦詩人」「お母さん詩人」などの異名で呼ばれました。楽しかった夏休みが終わり、なんとなく淋しそうにしている我が子を後ろから見守っているのでしょうか。それとも、過ぎ去った自分自身の夏の思い出でしょうか。

「忘れもの」高田敏子

日本の夏の風物詩のひとつ「盆踊り」。毎年八月に興正寺で開催されている盆踊りで、みんなの中心となり踊りを先導してくれているのが、地元の踊りのスペシャリスト、坂本さんだ。

坂本さんは、二〇〇九年から興正寺の盆踊りの指導を担当してくださっている。

「最初、お話をいたいた時は、とても嬉しかったです。母の代から通っていたお寺な

でよく存じ上げてましたし、知多四国八

十八ヶ所靈場の最後の札所にもなっている

お寺の盆踊りをやらせてもらえるなんて、

とてもありがたいことだと思いました。」と

語る。坂本さんは、日舞や民踊を習うう

ち、民踊の魅力にみせられ民踊三筋で指導

者になられた。興正寺だけでなく地域の

夏祭りやディナーパーティなど、とにかく様々な場所に出向いて、お弟子さん達と一緒に盆踊りを教えていた。そのパワーの源は一体何なのかと問うと「踊りが好き」とはもちろんですが、小さなお子さんに教えることも多いので、その子ども達にパワーをもらっています。手を繋ぐだけで全然違うんですよ。」と嬉しそうに答えてくれた。

すると、懐かしがって喜んで踊られる方が多いんですよ。そして、そんな姿につらかれて、今度は若い人や子どもさんも一緒に輪に入つて踊ってくれるんです」と坂本さん。昨年の興正寺の盆踊りでは、初めて外国人の方の参加もあり、とても盛り上がったそうだ。

老いも若きも、男も女も、国が違つても、みんなが一緒にになって楽しむことがで盛り上がつたそうだ。

「興正寺の盆踊りは皆さん積極的に輪に入つて踊られる方が多いので、やつてる私たちも楽しいです。若い方に合わせて現代曲の簡単な踊りを中心にやられるイベントもありますが、若い方だけでなくお年寄りも大勢来られる興正寺では、新しさが増えています。もっと多くの人で盆踊りの輪と笑顔を作つていきたいですね。」と笑顔で語った。

興正寺の盆踊りは、今年も八月十四、十五日に開催予定だ。



## 「踊りの輪」で「人の和」を築く、興正寺の盆踊り。

日本民踊・新舞踊協会 教授 坂本 明子さん

# 地域版

八事山文庫

人と街とお寺をつなぐ場所

葉月

こと

立秋

八月七日

処暑

八月二十二日

身体・言葉・心。この三つ

を同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。

このコーナーでは、声に出し

て誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月ご紹介していきます。

「身口意」。

言葉の葉が落ちる月「葉落ち月」、ばかりずつ秋の気配。立秋より、季節のあいさつも「残暑見舞い」に代わる。

著者の聲を越えた頃。朝夕には涼しい風が吹き始め、虫の声が耳に心地よい。白風到来の季節である。

親子で読みたい  
ことのは  
あそび



# 石碑でめぐる歴史浪漫

## 八 埋もれた至宝 興正寺石造物群

【其の一】いつもニコニコ見てござる

♪村のはずれのお地蔵さんは  
いつもニコニコ見てござる♪

お地蔵さまは、朝早く村を出ていく人を村のはずれでニコニコ見送り、昼間は近くで遊ぶ子どもたちをニコニコ見守り、そして、夜遅く帰る人を村のはずれでニコニコ迎えてくれます。

興正寺でも、正面入り口から入った参道右側の地蔵堂へ続く階段から多くのお地蔵さまが、エスカレーターの横では六地蔵さまが。いつも優しいまなざしでお迎えしています。

石仏のお地蔵さまは、私達を待つているのではなく、外に出て迎えてくださっています。私たちがいつでも直接手を触れることのできる仏さまです。地蔵盆の後、子どもたちがお地蔵さまに上るようにして「よだれかけ」をかけている姿が似合っています。

興正寺の境内には、石で造られた仏像が一般墓地を除いて二百四十九体確認されています。その内、お地蔵さまは百五体で、七十一体は江戸時代に造られており、時期は、天瑞和尚が興正寺を開かれたころと五重塔が町人の喜捨で建立されたころに集中しています。新しいところでは、平成二十六年に

作られた能満堂の横に広がる「法羅陀庭園」に遊ぶ六体の小さなお地蔵さまです。お会いすると、私たちのほうが自然とニコニコ顔になってしまいます。

六道（地獄道・餓鬼道・畜生道・阿修羅道・人道・天道）のどこに私たちが在つても、救いの手を差し伸べてくれる地蔵菩薩。興正寺の石造地

藏菩薩は、永いお方は三百年も前からいつもニコニコと外に立つて迎えてみえます。境内を巡りながら、美空ひばりさんのように「これこれ石のお地蔵さん」と問いかけてください。きっとお地蔵さまは応えてくださいます。

興正寺には、石仏・宝篋印塔・五輪塔・石碑などの石造物が一般墓石を除いて一千基以上あります。これだけまとまった石造物群は、近隣の寺院には見当たりません。現状を確認・記録するこ

とにより、寺の埋もれた至宝を守り伝える作業が今も続いています。



△地蔵菩薩

## 想耕茶会

一季節を楽しむ気軽なお茶会一

日 時：平成29年8月2日(水)  
11時～／12時～／14時～／15時～  
場 所：茶室 竹翠亭  
一席／1,000円 ※予約優先

お問い合わせ／茶室 竹翠亭 [TEL 052-832-2801 / 受付時間：10時～16時]

## お寺で夕涼み 興正寺 お盆の夜の呈茶席 —花氷の席—

日 時：8月14日(月)・15日(火)  
17時～20時(L.O.19時30分)  
※19時から冷煎茶のお点前をいたします  
場 料：普門園 大書院  
金：500円(抹茶と和菓子)

竹翠だより  
お茶が教えてくれた  
しあわせ



「お先に」という言葉

大寄せのお茶会でお菓子とお茶をいたたく時に一番大切なのは、周りの方への気遣いです。

自分が先に何かの動作をする時は

あとの方に軽く会釈しながら「お先に」といさつします。子どもたちも隣が知らない人で恥ずかしくて小さな声でも、外国人も「OSAKINI」と片言と笑顔でその言葉を伝えることができます。「お先に」の一言で、張り詰めていたその場の空気が一瞬にして柔らぎます。

茶道には決まりことがたくさんあって難しいと言われたりします。お茶をいたたく時も、前の方に対しても「もう一服いかがですか？」次の方に対して「お先に」亭主に向かって「お点前頂戴いたします」といさつします。自分に出されたお茶だからそのまま飲んでもいいでしょ！でなくして周りを気遣うのです。この「気遣う」は相手への「敬意」や「和」を表す心です。たとえ家族でも大切なことで、例えは「他の家族より」先にお風呂に入ったら、お先にとあいさつするのよ」と教えられました。当たり前と思われるかもしれませんのがわかつていても意外にできないのです。

ただ義務的に作法をするのではなく相手がどう思つか、お互い心地よく過ごせるか。自分の在り方や、そもそも、どうしてこれをするのか。お茶の作法を通じて、そんな本質に目を向けられるようになつたらいいなと思います。



### 子ども寺子屋 日本の夏の色で遊ぶ

六月二十五日に行われました、初夏の子ども寺子屋くらぶでは、子どもたちが藍染(雪花絞り)有松を中心に染めた染の技法に挑戦しました。竹翠亭「子ども寺子屋くらぶ」は日本の文化や伝統を四季折々に体験する講座です(会員登録制のお問い合わせは竹翠亭へ)。



### 終活道場～特別篇～

六月十八日に終活道場が開催されました。「死生観を考える、お寺だからできること」をテーマに、参加者同士のワークショップや作務・瞑想の時間を通じて今自分を見つめ直す時間を過ごしていただけた場となりました。次回は九月九日に開催されます(p.10をご覧ください)。

# 八事山歳時記

### 七夕席の室礼

七月一日から七日まで、竹翠亭の室礼が七夕の節句にあわせたものになり、訪れた参拝者を楽しませました。



### お地蔵さまにちよつと会いに

夏の宝物展

七月四日から七日まで、普門園大書院にて地蔵菩薩をテーマに夏の宝物展が開催されました。

宝物展は興正寺に所蔵されている貴重な宝物・文化財を身近に知つてもらおうと、定期的に開催されています。次回は「秋の宝物展」として十一月開催予定です。



### 興正寺月 釜

去る七月八日、興正寺月釜が開催されました。裏千家・小塚宗康先生のもと、多くの来場者が訪れ深緑の中の茶席を楽しめました。



お寺の法会  
まるごと体験! 一日修養会

平成29年8月6日(日)9時30分~15時

布薩会 ~戒めを守る誓いを新たにする日~  
一法話・特別対談(予定)・法会参加・写経

## ◎支具料:

一般 2,300円/杜の響会員 1,300円  
(昼食付・特別朱印授与)

## ◎定員:60名要予約

## ◎申込締切:8月3日(木)

## ◎お問合せ・お申込み:

WEBもしくは電話(052-832-2801)

※スケジュールや内容は状況などにより変更になる場合がございます  
のでご了承ください。

※支具料は事前にお納めいただけます。

(今後の予定)12月3日(日)

## 一日修行体験・特別篇

## —私たちがご案内いたします—

## 終活道場

—「死生観」を考える、お寺だからできること—  
自らの終わりを見つめることで今を生きることを考え  
自分を見つめ、自分らしく生きること。  
興正寺がご提案するおきならではの「終活道場」で、  
あなたの今を見つめなおしてみませんか。

作務 講義 観想 座談会

などのお寺ならではの体験を通じて「終活」を考える一日

## 講師

興正寺僧侶  
樹田 英伸

僧侶の視点から「生と死」を見つめる本当の  
終活を行います。終活道場に限らず、寺内講座  
「一日修養会」「仏典読み解き講座」「茶の古  
典を読む会」の講師も務めています。

## 案内人

FP OFFICE  
結-YUI- 代表  
林 直子氏

日本FP協会会員 ファイナンシャルプランナー。  
老後から終末期までのプランニングに軸足を  
置き「自分らしい」心のこもった終活をかなえる  
ため、相談・執筆・講演を行っています。

開催日程 2017年9月9日(土) 支具料 3,500円(昼食付き) 定員 15名【先着予約制】

●詳しい内容やお申込についてはお問合せください。●内容は場合により変更されることがございます。

## 八事山 興正寺 受付時間のご案内

祈禱・供養(懇向・法要)	9時~16時 (最終受付15時30分) 《予約受付》	当日受付はお待ちいただくことがあります ※西山本堂(聖牌殿・位牌殿含む)は毎時00分より 閑院室は毎時30分より
納経所(受付)	8時~18時	御守・御朱印・おみくじ・納経・その他授与品
永代供養受付	10時~17時 《予約受付》	毎週火曜定休 ※毎月5日・13日・21日と行事日を除く
普門園	10時~16時 (最終受付15時30分)	拜覲料 500円(多宝塔翠亭での受付・不使用) ※毎月5日・13日 9時~
甘味・食事処 八琴庵	10時~16時 (L.O.15時30分)	毎月5日を過ぎた火曜定休 ※毎月5日・13日 9時~

## 各諸堂の参拝時間 (お堂の外からの参拝は24時間可能)

諸堂	開室(堂内参拝可)	閉室
西山本堂 聖牌殿・位牌殿含む	毎日 8時~17時 ※法会中はお待ちいただくことがあります	
大日堂	毎月8日 12時30分~14時	
應滿堂	毎月24日 13時~14時30分	左記開室日程外 9時~16時
圓之院	毎月15日 13時~14時30分	毎月5・13日 9時~13時
觀音堂	毎月18日 13時~14時30分	左記開室日程外 9時~16時
弘法堂	毎月21日 10時30分~12時	
不動護摩堂	毎月28日 14時~15時30分	

※祭事等により変動する場合がございます。ご了承ください。

## 靈龕堂の参拝時間 (下記行事以外の通常時/開室8時~閉室17時)

日 事	日 程	開室 ~ 閉室
年末年始	平成28年12月31日~平成29年1月3日	7時30分~17時
春季被岸 ※1	3月17日~23日	7時30分~17時
親鸞会	6月10日	8時~20時
七月盆	7月13日~15日	7時30分~20時
八月盆・施餽鬼 ※1	8月10日~16日	7時30分~17時
秋季被岸 ※1	9月20日~26日	7時30分~20時
親月会	10月4日	8時~20時
千燈祭	10月7日~8日	8時~20時

※1 19時より合図法要のある日は供養会終了時まで

圓照堂の参拝受付時間 (下記行事以外の通常時/9時~17時 最終受付16時30分)  
※圓照堂本堂は開室8時~閉室17時

行 事	日 程	受付時間(参拝・お出しご)	本堂開室 ~ 本堂閉室
年末年始	平成28年12月31日~平成29年1月3日	事前予約制 ※1	7時30分~17時
春季被岸	3月17日~23日	事前予約制 ※1	7時30分~17時 ※2
親鸞会	6月10日	9時~19時30分	8時~20時
七月盆	7月13日~15日	事前予約制 ※1	7時30分~20時
八月盆・施餽鬼	8月10日~16日	事前予約制 ※1	7時30分~17時 ※2
秋季被岸	9月20日~26日	事前予約制 ※1	7時30分~17時 ※2
親月会	10月4日	9時~19時30分	8時~20時
千燈祭	10月7日~8日	9時~19時30分	8時~20時

※1 受付時間については、お問合せください。

※2 19時より西山本堂で合図供養会のある日は供養会終了時まで



## 8月の興正寺講座



※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

## ■ 仏讃歌

## 御詠歌上級

8月1日・18日・29日 13時30分より 光明殿  
金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

## 御詠歌初級

今月はお休みです。  
金剛流御詠歌の初級講座です。

## 御詠歌入門

8月5日・19日 14時より 光明殿  
金剛流御詠歌の超入門、お作法や符の読み方からはじめます。

## ■ 体験する

## 阿息観(密教禪)

8月20日・30日 14時より 普照殿／奥之院  
ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっています。誰でも心地よくリラックスできますよ!

## 阿字観

今月はお休みです。  
真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

## 写経・写仏

8月21日 11時より 光明殿  
毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

## ■ 学ぶ

## 佛教入門講座

今月はお休みです。  
難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

## 仏典読み解き講座

今月はお休みです。  
仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著「往生要集」を読み解いていきます。

## ■ 健康づくり

## ゆらゆらペアストレッチ

今月はお休みです。  
支具料1,000円(予約優先・当日参加可)

## TERA-YOGA(寺ヨガ)

8月21日 10時より 普照殿  
支具料2,000円(要予約・〆切前日17時)

## マタニティヨガ

今月はお休みです。  
支具料2,000円(要予約・〆切前日17時)

## ■ 遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

## 写 経

8月8日 講師 西山海良 支具料1,500円

## 阿息観

8月22日 講師 西山海良 支具料1,500円

## 日々折々の書

8月28日 講師 中村 均 支具料2,000円

## 水墨画

8月25日 講師 山田静舟 支具料2,000円

## きもの装い(入門・応用)

8月2日 講師 小泉美代子 支具料2,000円

## 茶の古典を読む

8月3日 講師 横田英伸 支具料1,500円

御詠歌上級・初級を除くすべての講座でWEB予約が可能となりました。興正寺公式ホームページ「まなびの講座WEB受付」よりお申し込みください。

## 興正寺さくらカレッジチャリティー募金のご報告

[運営だより]

3月に開催された興正寺さくらカレッジにて、皆さまから寄せられました募金を以って、名古屋市内2箇所の児童養護施設それぞれに、絵本・おもちゃを寄贈いたしました。守山区の「和進館児童ホーム」ではプレゼントの絵本の中から1冊、僧侶が読み聞かせをし、昭和区の児童養護施設では、おもちゃを使って子どもたちとふれあいました。ご報告申し上げるとともに、皆さまのあたたかなお心に深く感謝いたします。

興正寺では仏さまにお供えいただいたお菓子をお下がりとして、毎月児童養護施設に寄贈しており、末永い形でご支援できればと考えております。



守山区和進館児童ホーム



昭和区児童養護施設

興正寺行事カレンダー

8月

普門圓持觀時間 10:00~16:00  
休園日/休園日 10日(木)・20日(日)・26日(土)・30日(水)

月	火	水	木	金	土	日	
31 友引	1 先負 △御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘  ★永代供養受付定休日	2 仏滅 △遊翠の心きもの装い 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 △遊翠の心 想耕の茶 11:00 12:00 14:00 15:00 竹翠亭 予約優先 支具料 1,000円  ★永代供養受付定休日	3 大安 戊の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 △遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 樹田英伸	4 赤口	5 先勝 ○大隨求明王 緑日 露店アリ 10:00 干支成満巡り ○青葉まつり 14:00 本堂 13:45 法話 △御詠歌入門講座 14:00 本堂出仕 鈴村智弘  大隨求明王	6 友引 ○布薩会 10:00 本堂 ○施餽鬼法会 15:00 本堂 ☆一日修養会 9:30 要予約	
7 先負 立秋	8 仏滅 ○大日如来緑日 12:30 大日堂 理説分經祈禱 △遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良  ★八番座定休日 ★永代供養受付 定休日  大日如來	9 大安	10 赤口 ○觀音堂九万九千日 9:00 觀音堂  ○盆合同供養会 墓地・靈龕堂・法羅陀淨苑・永代納骨・一般檀信徒の方は本堂へ。 本堂 8:00 11:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00	11 先勝 山の日 ○興正寺施主懇意法会 14:30 本堂	12 友引 ○初盆合同供養会 14:00 15:30 17:00 光明殿	13 先負 ○虚空藏菩薩 緑日 露店アリ 10:00 法話会 10:00 千支成満巡り  圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00  虛空藏菩薩	
14 仏滅	15 大安 戌の日 ○般若波羅蜜多心經 12:00 本堂 ○精霊流し 17:00 本堂前 ○盆踊り 17:00 五重塔前  圓照堂に納骨されている方は圓照堂へ、19時の回はすべて本堂にて行います。	16 赤口 ○施餽鬼大法会 11:00 13:00 15:00 本堂	17 先勝	18 友引 ○觀世音菩薩 緑日 13:00 觀音堂 護摩祈禱／法話 △御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘  觀世音菩薩	19 先負 ○御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	20 仏滅 △阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	
21 大安	22 先勝 △遊翠の心 阿息觀 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良  弘法大師 興正寺マルシェ  ★永代供養受付定休日	23 友引 処暑 ★お寺でおとまり会  地藏菩薩	24 先負 ○地藏菩薩大祭 緑日 (地藏盆) 13:00 大書院 大数珠おくり／紙芝居	25 仏滅 △遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	26 大安	27 赤口 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂	
28 先勝 △不動明王 緑日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱／法話 △遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円  不動明王  ★永代供養受付定休日	29 友引 △御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘  ★永代供養受付定休日	30 先負 △阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	31 仏滅 △遊翠の心 茶の扇 竹翠亭 要問合せ	御靈を送る、精靈流しと共に…		盆踊り 8月14日(月)・15日(火) 17:00~20:30 五重塔前	

- 興正寺は自然環境に配慮し、地球環境保全に貢献しています -